

おち町

No 121

2017 (H29) 8/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



おいしいお米が収穫できますように 6/9 (3面参照)

6月定例会

- 4 P まち・ひと・しごと創生総合戦略検証・評価
- 11 P かわの駅キャンプ場条例を可決
- 18 P 1区住宅用地、キャンプ場など5人が問う (一般質問)



表紙写真にスマホやタブレットをかざすと、「越知ドッグス田」の田植えの「動画」が見られます。詳しくは、13面をご覧ください。

創生総合戦略を検証

6月定例会は、9日から13日まで開き、専決処分の承認5件、報告4件、平成29年度各会計補正予算、かわの駅キャンプ場条例の制定（11面に関連記事）など10件、監査委員、人権擁護委員、農業委員会委員などの同意、議員提出の薬用作物の継続的な生産を可能にする仕組みの整備を求める意見書など2意見書（13面に関連記事）を可決・承認しました。

一般質問（18面から）は5人が登壇し、1区移住定住促進住宅用地、キャンプ場整備工事、教育行政などについて執行部をたずねました。

一般会計補正8億1965万円

29年度補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		8億1965万円	54億2879万円
特別会計	下水道事業	12万円	1億8150万円
	国民健康保険	32万円	9億558万円
	横倉山自然の森博物館	307万円	2711万円

全ての会計を賛成全員で可決

4P まち・ひと・しごと創生総合戦略検証・評価

8P 議案質疑
森林資源解析委託業務など

11P こんなことが決まったぜよ
かわの駅キャンプ場条例可決

13P 薬用作物の継続的な生産を可能にする仕組みの整備を求める意見書など2件を賛成全員で可決

14P キャンプサイト、地震対策視察報告
○大分県スノーピーク奥日田
○熊本県益城町

18P 一般質問5人が登壇
教育行政、私債権管理、1区移住定住促進住宅、防災対策、人材育成、宮の前・日ノ瀬キャンプ場など

23P 広域議会

24P 議会ですこんにちは
連載：移住者訪問⑫

今号の表紙



好天に恵まれた6月9日に文徳の水田で、高知ファイティングドッグスの選手と保育、幼稚園児による田植えが行われ、園児たちは、泥だらけになりながら楽しそうに田植えをしました。

日ノ浦あじさい街道 (6/17)

地方創生検証・評価



創生総合戦略の検証・評価が行われた全員協議会の様子

本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略「おち家の挑戦」の各施策が実行に移され一年以上が経過した。5月25日には、議会基本条例に基づき全員協議会を開き、総合戦略の取り組み状況と議会からの政策提言が取り入れられているか、検証・評価を行った。

【農業】

相談できる体制を

齋藤議員 新規就農者が相談できる体制が重要だ。

「百姓のことならワシに聞きや」というような人を何としても探してもらいたい。

早く探したい

田村産業課長 大変重要な問題と捉えており、農協OBなどに、早めに声掛けをしていきたい。

新規就農者は今後増えるか

高橋議員 新規就農者は毎年5人だが、今後増える見込みはあるのか。

やる気のある人に積極的に協力

田村産業課長 途中で農業をやめてしまう人が全国的に多い。

やる気のある人に積極的に協力して、就農者を増やしていきたいと思う。

準備型の就農者に支援を

武智議員 準備型（先に勉強等行ってから）の就農者に支援を行ってもらいたい。

1ターンの人には研修を2年間

田村産業課長 1ターンの人には、研修を2年間受けてからの就農を基本にしている。

事前の面接でも農業経験の有無を聞き取りしている。

【特産品】

試作品等のお披露目を

齋藤議員 町内で大勢人

が集まる時に、試作品等のお披露目をする機会を作ったかどうか。

去年は産業祭で

田村産業課長 去年は産業祭で、から揚げに付けて食べる山椒を使ったタレの試作品提供を行った。

もう少し積極的に

齋藤議員 チラシを配るなどして、もう少し積極的に行えないか。

継続して発展を

田村産業課長 アンケートを目的として行ったが、今後も継続して発展を考えていきたい。

中内企画課長 今成の野菜を使って、ピクルスを開発したい。
ジビエ、山椒は県の制度を活用したい。



粉サンショウを使った特産品開発も可能性がある

特産品があれば

齋藤議員 キャンプ場を含め、お客さんがたくさん来た時に、何か目当てになる特産品があればいいと思うが、緊急に行ってもらいたい。

業者の把握は

武智議員 企業を支援するのが大事だ。特産品開発の可能性のある業者は把握しているか。

商工会と連携を

田村産業課長 (株)岡林農園以外の事業者は把握できていない。今後、商工会と連携して進めたい。

中内企画課長 他の企業の掘り起こしが必要。

特産品のPRは

西川議員 特産品等はいかにPRするか。

小田町長 それぞれの企業の考え方があり、積極的に町がPRするのは難しい。

【ふるさと納税】

好調を維持できるのか

小田議員 総務省が返礼品率を3割以下にするよと言っているが、それによって今の好調が維持できるのか、下火になるのか、どのように分析しているか。

ある程度は確保できている

織田総務課長 現在の返礼品率は5割で、今後生産者との協議を設け、商品数を減らすか、金額を下げるか検討していきたい。金額的な部分は把握しづらいが、ある程度の寄附額は確保できていると思う。

本町は、きちんと返礼品率を守り行っていると、いうことをアピールしていきたい。



仁淀ブルーの恵み「おち米」

【仁淀ブルー】

仁淀ブルーの冠商品はありますか

武智議員 仁淀ブルーを冠とした商品はあるのか。

米袋のデザインに使用

中内企画課長 ふるさと納税返礼品の米袋のデザインに使用している。

生計を立てる観光事業者はいるか

武智議員 観光関係で生計を立てている事業者などがいるか。観光でお金を落とせる場所や経済効果を得られるものはあるか。

横倉山・仁淀川を柱に展開したい

中内企画課長 横倉山・仁淀川を柱に観光産業を展開していきたい。

地域の住民グループで、松山街道の整備も行い、仁淀ブルー観光協議会も力を入れてくれているので、お金が流れる形にしていきたい。

受入団体については、観光協会が主体となってやってもらいたい。

宮の前に建設予定のキャンプ場のセンターハウスで、仁淀川流域の特産品を販売して人を呼びたい。



盛土工事が進んでいる日ノ瀬キャンプ場予定地

盛土の搬入が遅れているようだ

寺村議員 キャンプ場の

盛土がかなり遅れているように聞くが、30年4月オープンに間に合うのか。

中内企画課長 現状では厳しいかもしれない。見直しが必要な部分が出てきている。

小田町長 後日話をさせてほしい。

【移住・定住】

小田議員 お試し住宅利用者が移住するまでの流れが定着していない。それはなぜか。どういう分析をしているのか。

中内企画課長 定住に結びついた人もいる。

岡田企画課係長 原因として観光目的の方が多くなってきた。対策として事前のヒアリングを行っている。

今後は、帰った後のアンケートや1カ所は必ず案内するということを検討している。



移住につなげたい「お試し住宅」

【地域おこし協力隊】

協力隊にいろいろな調査活動をする

武智議員 協力隊に越知の勉強を兼ねて、いろいろな調査活動をしてもらったらどうか。

例えば、宮の前のイベントでの消費額やカヌーの利用客数等もデータがないと分析が難しい。

それぞれミッションがある

中内企画課長 協力隊のミッションとの兼ね合いが必要だが、継続調査を行っていく。

【SNS】

武智議員 SNSの活用とあるが、それは個人のものか。町がしているものもあるのか。

中内企画課長 個人のものにはフェイスブックがある。これからホームページの中で、協力隊のページを作る予定。

武智議員 フェイスブックの「おち着くライブ」は、個人がやっているのか。

中内企画課長 「おち着くライブ」は、企画課がやっている。

●SNS

SNSは多くの人利用しているネットワークサービスで、ソーシャル・ネットワークキング・サービスの略で、ネット上で社会的なつながりを持つことができるサービス。



ヒューマンライフ土佐での出前授業

【就労支援】

一貫した支援策を

武智議員 各産業分野の後継者の育成として、小中学生の販売体験等などの産業教育や、町内の産業に就業する一貫した支援策を作ったらいのではないか。

検討する

谷岡教育次長 公民館のマスタープラン等各地区で展開していくよう、教育長から指示を受けているので検討する。

中学校で出前授業

田村産業課長 ツムラ、ヒューマンライフ土佐、県との協定がある。

中学校では総合学習の時間を使って、ツムラによる体験学習や出前授業等を行っている。

【婚活サポート】

婚活サポーターを置くことは

武智議員 こうち出会いサポートセンターも大事だが、佐川では婚活サポーターが成果を上げているようだ。

本町にも婚活サポーターを置くことは考えられないか。

取り組みができていない

中内企画課長 現状として独自の取り組みはできていないので検討する。

【住民自治】

住民自治は必要

武智議員 集落活動センターがあってもなくても、住民自治は必要だ。

住民自治をどう進めるか、位置付けや考え方は、



住民自治につなげる活動にしたい横島の「お山の喫茶店」

地区懇談会で事情を聴く

中内企画課長 中山間地域の自治を守るのは大変になってくると思う。

地区懇談会で地域の事情を聴きながら、町が考えているビジョンを説明していきたい。

【まちづくり人材バンク】

武智議員 まちづくり人材バンクとは、どういうところに活用するためにあるのか。

中内企画課長 特殊な技術の伝承、今持っている地域の技術を伝えていくために活用していく。

検証を終えて

本町議会は、行政事務のチェックだけでなく、27年9月から他町村に先駆け、独自の政策提言を行ってきた。

今回2回目の検証を行い、執行部と車の両輪となって事業に取り組んでいると実感した。計画通りに進んでいない事業もあったが、今後も継続して提言や検証を行い、地方創生事業の成果を上げていきたい。

一般会計補正

建設課

業務の内容は

森林資源解析委託業務 補助金366万円

地域の新たな原木需要に対応し、川上から川下間の地産地消による森林資源の循環利用を図るのが目的だ。

計画は3年間で、官民一体の推進協議会を設立して取り組む。

本町は、森林資源の解析など森林の基礎数値を集約する。

山がどう動くか

齋藤議員 これにより越知の山が、具体的にどう動く想定しているか。

齋藤議員 森林資源解析委託業務、全額補助金で366万3千円となっているが、県下全域であるのか、内容は。

計画は3年間

前田建設課長 本町、仁淀川町、佐川町が合同で提案したものが林野庁のモデル事業に採択された。

齋藤議員 補助をもらい協議会ができるので、住民に直接つながる協議会を作ってほしい。

前田建設課長 この協議会は3町と、森林組合、県中央林業事務所等が参画して構成する。

地域の温度差もあるが、主張すべきは主張して、周辺の経験の深い町村を参考にして進めていく。

向屋敷

池ノ上線等

用地費1819万円

市原議員 町道用地費等1819万円の場所は。

前田建設課長 8区の向屋敷池ノ上線(仮称)の宅地及び畑の用地費と大樽線の山林購入費。



所得につなげたい森林資源

橋の点検 補修設計の内容は

点検1820万円
補修設計660万円

耕作道拡幅 工事管理は

工事請負費80万円

武智議員 鎌井田耕作道拡幅工事80万円は、請負となっているが、町が管理するのか。

市原議員 橋の点検1千820万円、補修設計660万円の事業内容は。

前田建設課長 本町の橋は143橋で、29年度は51橋を点検する。

補修設計は、大平の甘草谷橋、榊ノ瀬2号橋、谷屋敷2号橋の3橋。

前田建設課長 延長は12メートルと長く路側がかなり高いため、地元での施工は難しいと判断し工事請負費とした。基本的には地元管理とし、役場は支援する。



改良が予定されている大樽線入り口付近

大樽線改良 用地は解決しているか

建設課

測量設計1010万円

齋藤議員 町道大樽線改良交付金工事測量設計1010万円とあるが、どの程度改良するのか。用地は解決しているか。

前田建設課長

全線改良の予定で延長500メートル、幅員は4メートル、バス等の待避所も検討する。用地は解決済みだ。

産業課

具体的な事業内容は

野生鳥獣に強い

県づくり事業

負担金29万円

小田議員

野生鳥獣に強い県づくり事業負担金29万4千円の具体的な事業内容は。

射撃場を整備

田村産業課長 佐川の射撃場が老朽化し休止状態となっており、これを猟友会が事業主体になり、本町、佐川町、仁淀川町が共同で負担し整備する。

小田議員

射撃場を整備し、結果として狩猟免許の増大につながるのか。



3町で整備予定の佐川射撃場

企画課

おち駅第2 駐車場付帯工事

おち駅第2 駐車場付帯工事

小田議員

おち駅の第2駐車場整備付帯工事の内容は。

中内企画課長 出入りに支障を来すため、国道の歩道部分の縁石を切り下げ工事だ。

空き家改修

武智議員

空き家耐震改修工事費設計管理142万6千円の場所は。

中内企画課長 浅尾の空き家を改修してシェアハウスやお試し住宅として、多目的に活用する。

武智議員

空き家荷物整理30万円、空き家改修補助金364万8千円の内容は。

中内企画課長

空き家の荷物整理ができなくて、貸すことができないという回答があり、新たに空き家の荷物整理運搬及び処分にする経費の補助で3件分。

空き家改修等補助金は2件分。

企画課

観光事業の目的は

武智議員 観光費の住宅借り上げ料34万8千円の内容は。

中内企画課長 宮の前公園キャンプ場の整備工事に伴い、仮設事務所としてカヌー受付兼更衣室及びカヌー艇庫用の倉庫を借り上げる。



キャンプ場の工事に伴う取り壊される建物

博物館20周年記念行事

教育委員会

広告料18万円
テレビCM135万円

武智議員 20周年の記念行事として広告料、テレビCMとあるが、事業効果は。

谷岡教育次長 まち・ひと・しごと創生総合戦略で8千人の目標を立てているが、試算はできていない。



開館20周年を迎える横倉山自然の森博物館

総務課

地方債見込額 過去最高の66億4千万円

借金5億9千万円増加

齋藤議員 地方債の残高が、今回の補正で66億4千万円となった。

今後新たな借金をして事業をしなくてはならないと思うが、内部でのチェック体制をどのようにしていくか。

織田総務課長 起債残高は過去最高となっており、今後も財政的に厳しいのは間違いなく、償還を含めたシミュレーションを作り内部で共有していく。

ふるさと納税

山橋議員 ふるさと納税自治体連合負担金3万円の内容は。

小田町長 全国的にふるさと納税を推進する協議会を立ち上げており、本町も加盟するための負担金である。



新鮮な野菜の詰め合わせは返礼品の人気商品だ

かわの駅キャンプ場条例

産業振興と地域経済の活性化に取り組む

企画課

条例の制定

本町の資源である仁淀川を活用した体験型観光の拠点として、体験・滞在型観光による町の産業振興を図る。

宮の前公園には、体験型観光拠点施設と宿泊棟、日ノ瀬清流公園には、キャンプサイトと宿泊棟を整備し、30年オープンを目指す。

《賛成5・反対3》

質疑

武智議員 カヌー・ラフトは、観光協会が唯一の収入事業として実績を積んできた。

指定管理者になれば問題ないが、別の業者になった場合は収入がマイナスになり、運営が厳しくなると思うが話についているか。

中内企画課長 キャンプ場事業の基本計画策定の段階から観光協会も入っており、その中で、カヌー・ラフトも一体でという方向である。

武智議員 宮の前は手付かず状態、日ノ瀬も遅れているが、今議会がタイムリミットなのか。

國貞副町長 日ノ瀬は4月オープンを目指しているので、そこから逆算して指定管理の公募をしていくには、6月議会での提案と判断させていただいた。

反対討論

武智議員 この事業構想そのものは非常にすばらしく良いと思うが、今まで実績を積んでこられた地元業者の観光協会との話が決着してないものを認めるわけにはいかないので、この条例制定に反対する。

使用料の限度額

施設区分	利用時間	単位	使用料	備考	
宮の前公園センターハウス	シャワー室	終日	3分間	100円	
	宿泊棟	午後2時～翌日午前10時	1棟1泊	8,640円	
日ノ瀬清流公園	シャワー室	終日	3分間	100円	
	宿泊棟	午後2時～翌日午前10時	1棟1泊	12,960円	
	オートキャンプサイト	午後2時～翌日午前10時	1泊1区画 車1台、テント1張 タープ1張、6名まで	4,320円	小学生未満に含まない
カヌー等の設備	カヌー体験	午前9時～午後5時	4時間	5,940円	1人当たり
	ゴムボート体験		4時間	4,860円	
	カヌー及びゴムボートに関する備品等		4時間	1,080円	

採決結果

賛成者
市原
高橋
斎藤
西川
寺村

反対者
小田
武智
山橋

総務課

一時的な受け入れ可能
困窮者支援住宅
管理条例

住宅困窮者（災害・火災の被害者及びDV被害者の人等の緊急避難）や移住者の一時的な受け入れなど、困窮者の支援及び地域の活性化を図る。

《賛成・全員》



改修工事が行われている困窮者支援住宅

総務課

徴収体制を強化 私債権管理条例

私債権管理の事務処理の一般的基準、その他必要な事項を定め、徴収体制の強化を図り徴収率の向上を目指す。

《賛成・全員》

●私債権●
貸付金や契約に基づく使用料等で、住宅使用料、水道料、学校給食費、学童保育料、預かり保育料などがこれに当たる。



新しくなった深瀬集会所

専決処分

集会所を無償譲与

宝くじの助成事業で建設した深瀬集会所を、地縁団体の「深瀬会」代表者 藤岡純子に無償譲与する。

《承認・全員》

28年度一般会計補正

4649万円を追加
総額55億5831万円

地方交付税等歳入の最終額が確定したことに伴い、財源調整の結果、施設等整備基金元金積立に2892万円、ふるさと応援基金元金に1757万円を追加した。

《承認・全員》

質疑

山橋議員 28年度補正で、ふるさと応援基金元金1757万円を入れると総額でいくらになるか。

織田総務課長 ふるさと応援基金の28年度末現在高は、5080万1千円になっている。

税務課

固定資産税を3年間免除

農林水産物等販売事業の一定の設備を新設又は増設した者は、条例に基づき課税免除される。減収分の75%が普通交付税で補填される。

対象者…青色申告の法人と個人
免除期間…3年間
《承認・全員》

国保の軽減対象基準を引き上げる

国保税の軽減対象となる所得金額の被保険者数に乘すべき金額を引き上げる。

7割軽減は変更なし。
5割軽減 26万5千円↓27万円
3割軽減 48万円↓49万円
《承認・全員》

工事請負契約締結

野老山地区水道施設整備事業

入札の方法 指名競争入札
契約金額 1億6593万9840円
契約相手 (株)高橋組 高橋佳久
工事場所 野老山の一部
工事内容 管路延長5,042m
工期 平成30年2月28日まで

《賛成・全員》

人事

○監査委員の選任同意
横島東 須内康仁氏(新)
任期は、平成33年6月14日まで
《賛成・全員》

○人権擁護委員候補者の推薦
越知甲 箭野久美氏(新)
任期は、平成32年9月30日まで
《賛成・全員》

○農業委員会委員の任命同意
越知乙 山崎耕助氏(再)
越知甲 藤原幸子氏(再)
柴尾 須内啓次氏(再)
横島北 和田昌夫氏(再)
横島南 大原利武氏(再)
今成 箭野正昭氏(再)
浅尾 岡林富士男氏(再)

野老山 吉田由太郎氏(再)
越知甲 大原典子氏(新)
今成 橋詰 節氏(新)
任期は、平成32年7月19日まで
《賛成・全員》

提出者 武智 龍 議員

薬用作物の継続的な生産を 可能にする仕組みの整備を

漢方薬の契約単価は長く固定されてきたが、製薬会社側では、資材費等の上昇を加味した新しい契約単価の設定を検討しているようである。

漢方薬製薬会社との契約栽培をしている薬用作物は、中山間地域の農業振興につながる有能な作物として400戸以上が栽培しており、本町の基

幹的作物として確立されている。

医薬品の流通制度に加え薬用作物栽培に対する農業支援政策など、薬用作物が安心して継続的に栽培できる体制の構築につながる新たな制度・仕組みを検討すること。

《賛成・全員》
提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣他



乾燥させた薬用ショウガ(カンキョウ)

ビキニ核被災事件の 元乗組員に対し必要 な措置を講ずること

提出者 高橋文一 議員

1954年3月からマーシャル諸島ビキニ環礁で開始された米国の水爆実験で、第五福竜丸の他約1000隻に及ぶ被災船がいることが明らかになった。

日米両政府は、水爆実験による被災船や乗組員の被災状況を調査し、対策を講ずることなく、1955年に政治決着した。

以来、60余年にわたり被災したマグロ船や貨物船の乗組員に対する救済措置は放置されてきた。

政府が保管している当時の被災船と乗組員の実態調査を関係都道府県と協力して行うとともに、一日も早い被災漁船員に対する救済措置を講ずる施策を求めます。

《賛成・全員》
提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣他

6月定例会に提出された2件を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

スマホやタブレットで「動画」を見るには、下記の操作をしてください。
動画の見られる期間は、10月31日までとなっています。

操作は簡単 3ステップ!



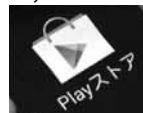
アプリマーク

- 1 専用アプリをダウンロードしてください。
iphone/ipad は「App Store」
スマホ/タブレットは Google「Playストア」
各サイトで「COCOAR」を検索して、アプリ(パンダマーク1)をダウンロードしてください。
(無料で登録の必要はありません)

iphone/ipad
App Store



スマホ/タブレット
Playストア



- 2 アプリを起動し、カメラマークをタップし、写真にかざしてください。
- 3 ピントが合うと動画の再生が始まります。スマホを横にして動画フレームをクリックするとサイズが大きくなります。



視察報告 1

スノーピーク奥日田



天気の良い日には店舗から阿蘇山を望むことができる

本町の重要課題であるキャンプ場の整備と地震対策に役立てるため、大分県日田市にあるスノーピーク奥日田の施設と28年4月に発生した地震で大きな被害を受けた熊本県益城町を視察した。この視察を踏まえ、7月7日に全員協議会を開き今後の取り組みについて協議した。

指定管理者はスノーピーク

標高950メートルの所にスノーピーク奥日田がある。

昭和61年から18億円をかけてキャンプ場をオープンし、20年が経った。

今のニーズに合わせてトイレやフリーサイト等を1億3000万円で改修し、平成27年4月からスノーピークが指定管理者になっている。

100サイト欲しい

サイト数は65だが、3月から満杯になることもある。連休などはかなり予約を断っている状況であり、100サイトは欲しいとのことだ。

福岡方面からの利用者が多い。

宿泊1万人

年間利用者は1万5000人で、宿泊は1万人。梅雨の時の利用者は少ない。



キャンプ場オープンから20年が経過した宿泊棟

1泊2日の利用が多いが、連休は2〜3泊もある。年越しのキャンプも30組あるとのことだ。

宿泊棟の利用は1泊が多いが、チェックアウトは午前10時となっており、市内で昼食を食べて帰る人もいるようだ。

年間稼働率が20%超えて成功と言われているが、奥日田キャンプ場は、17〜20%である。

社員は5人

スタッフは5人（社員3人、契約社員1人、アルバイト1人）で、うち地元雇用は2人である。

本町はキャンプ場を2カ所で管理することになるので、この人数では無理と思われる。



新設されたフリーサイト

清掃等管理は地元

建物の清掃や芝生の管理は12〜13人の地元の人を雇用しており、費用は年間約300万円となっている。

地震の被災地に支援物資

熊本地震に伴う災害援助として、テントや寝袋等の物資を日田でまとめて被災地へ輸送した。

スポーツイベントを開催

キャンプ場での体験プログラムはないが、山歩き、スプリングキャンプなどスポーツでのイベントを行っている。

また、日田市が椿ヶ鼻ヒルクライム（自転車道山を駆け上る）のイベントなどを開催している。

グランピングやビジネスと絡める

指定管理者の立場から市や議会に対する意見として、スポーツや観光施設を点で捉えていると感じるので、良いものが孤立してしまっている。それぞれのコンテンツをつなげるための理解が必要とのことだった。

日本のキャンプ人口は6〜7%だが、これから増えると予想される。

グランピングやビジネスとも絡めてそれ以外の人へ、訴えかけることをしていかなければならぬとの意見があった。



ショップではスノーピークの全製品を取り扱っている

収入は5200万円

運営の収入は、売り上げ約5200万円、キャンプ場利用料と物販が半々となっているが、今年の予算はプラス1000万円を計上している。支出は人件費1300万円、建物関係1400万円、建物関連600万円、その他の経費1000万円となっている。

市への経済効果は

平成28年に奥日田デザイン会議が委託して実施したキャンプ場利用者への追跡調査では、キャンプ場で使った金額は1万7000円だった。これにスノーピーク来場者数を掛けたものが市への経済効果ではとの説明があった。

指定管理は5年間

指定管理の契約期間は5年とし、管理料は年間840万円。

3年で軌道に乗ったころ業者が代わる可能性があるがあるので、これを機会に、他の指定管理の契約期間も5年とした。

本町での今後の取り組み

収入増に工夫を

本町のキャンプ場計画地は、場所も良く集客には期待が持てるが、2カ所に分かれるため「ランニングコストが高く付く」と言われた。収入増に対する工夫が求められる。また、指定管理料などの住民負担を増やさない工夫も必要だ。

視察報告 2

益城町の地震災害



説明があった会議室では議会も開催される

益城町では、プレハブ庁舎で、議会事務局長、議会議長から地震発生時の状況、町や議会の対応等の話を聞き、意見交換と被災後使用不能となっている役場庁舎を視察した。

熊本城は、立ち入り可能区域から被災状況を見たが、大地震の影響を受け天守閣や石垣が大きく崩れており、復旧には相当の年数と費用が予想される。

地震発生

平成28年4月14日の前震は縦揺れ、4月16日の本震は横揺れで、ともに震度は7であった。

縦揺れと横揺れが重なり大きな被害となった。発生以降の地震回数は4300回を超えている。

被害状況

人的被害は直接死20人、関連死20人、重傷者122人。町内の家屋は半数以上が全半壊、無被害はわずか7棟だった。

一回目の地震で火災が1件だったのは、地元消防団がプロパンガスの元栓を閉めて回ったことにより火災を防いだ。

対策本部設置

4月14日23時、役場庁舎が使えないため、駐車場にテントの災害対策本部を設置した。

16日には、保健福祉センターへ移転した。

避難所の状況

電気、ガス、上下水道が全滅のため、炊事やトイレが家でできず、公的避難所へは最大1万6050人が避難した。

避難所では昼間15人、夜間5人ほどの職員が必要で、役場職員250人のほとんどは、炊き出しや仮設トイレの設置などの対応に追われた。

また、プライバシー保護や取材手法などマスクミ対応に苦慮した。

救助活動

至る所で道路が寸断されており、自衛隊の救助活動には地元で詳しい消防団が連携し活躍した。

情報提供

テレビも見えず、住民が被災状況や情報を得る手段がなく、4月27日には「ましき災害FM」放送を、30日には「広報ましき」災害臨時号を発行した。



仮設庁舎の近くには仮設住宅が並んでいる

役場業務の再開は2カ月後

全国からの職員派遣により2カ月後に役場業務が再開できた。

被災後に全国から職員派遣があるが、受け入れ態勢ができていないため、清掃などの雑用をしてもらうなど十分な活動をしてもらえなかったのが反省点で、受援力を磨くことが大事だとのことだ。

役場職員も被災

役場職員は1日2交代で2カ月間休みなし。自身も被災しているうえ、避難者の不安や怒りのはげ口となり、入院するなど心身に不調をきたす職員もいた。

7月4日から職員のストレスチェック面談を開始したが、被災から一週間後には、カウンセラーを置いたほうがよいとのことだ。

議会の対応

議員は、5地区17カ所の避難所で、住民の苦情や要望を聞き、行政とのパイプ役となった。

地震発生10日後に、国が仮設トイレ130基を用意してくれたが、職員は避難所対応で手が回らなかったため、63カ所の公民館に議員が地域の人と協力して設置した。



被災後1年以上経過した29年5月に仮庁舎に移転した

議長は、1カ月ほど本部に詰め、各議員と連絡を取り合った。6月定例会は、7月26日に開催したが、一般質問、委員会等はなしで会期は1日だった。

議会棟も被災

被災したままの状態となつている議会棟の中を視察した。

外から一見すると大丈夫そうに見えた建物も基礎部分と地面の間は断裂し、耐震補強をしていなければ建物ごと崩壊して



天井が落ち大きな被害を受けた議場

いたであろうとのことであつた。

内部は事務用品が床に散乱し、特に壁や天井が崩落した議場はすさまじい様相で、もし本会議中に発生していたら死傷者が出たと思われた。

復興に多額の費用

復旧復興には多額の事業費が必要で、国県からの交付税等があつても280億円相当が町負担となり、長い年月厳しい財政となる。

住民感情としては、壊れたものが元通りになるだけでは復興しているとは実感されにくく、プラストアルファが必要とのことであつた。

本町での今後の取り組み

近い将来高い確率で起こると言われている南海トラフ地震で、益城町のように町内全域で災害が発生した場合、消防や職員が現地へ着くまでには、時間がかかる。

修復が始まった熊本城



地域ごとに、住民と共に被災後の行動マニュアルを作り、実際に訓練しておくことが必要だ。議会も支援本部設置要綱を作つたが、詳細な役割や行動マニュアルを作り、独自の訓練をしておこうということになった。

一般質問 5人登壇

ズバリ!!

町政を問う

<p>高橋丈一・18ページ</p> <p>① 教育行政</p>	<p>小田範博・19ページ</p> <p>① 私債権管理 ② 1区移住定住促進住宅用地</p>	<p>市原静子・20ページ</p> <p>① 防災対策 ② 総合健診 ③ 町民バス ④ 児童公園の管理</p>	<p>武智 龍・21ページ</p> <p>① 人材育成 ② 観光客による地域経済効果の現状と今後の見通し ③ 移住状況と今後の取り組み</p>	<p>山橋正男・22ページ</p> <p>① 宮の前・日ノ瀬公園キャンプ場 ② 1区移住定住用地のその後 ③ 子育て支援策</p>
---------------------------------	---	---	---	---

教育行政

英検3級以上の取得者割合は 全国、県平均よりも高い



高橋丈一 議員

教育長

問 中学3年生を対象にした英検3級以上の取得者割合と、教員裁量で相当と判断した生徒を入れるとどれくらいか。

山中教育長 本町の受験者数は31人で準2級2人、3級11人で41・9%の合格率となっている。全国平均36・1%、県平均は33・6%で、それよりも高くなっている。

また、本町は教員裁量での判断はしていない。

問 今年、東京で2000人の教育関係者を対象にして、AI（人工知能）を使ったシミュレーションを開催している。本町も近い将来AI導入の授業を準備してはどうか。

山中教育長 現在AIの研究はまだしていないが、将来活用も必要になると思っており、これから注視していきたい。

問 保、幼、小、中の連携による指導のもとで、知・徳・体での取り組みの成果は。

山中教育長 小学生が中学校の授業を参観し、中学生は道徳の時間に小学校で話をする。

また、総合学習では小学生が中学校に調べ学習に行き、交流事業ができている。

特に保、幼は小学校入学式の態度もよく、5月の運動会でも立派に演技ができています。学力が高くなったのは

連携教育の効果で、知・徳・体の取り組みは、現時点では及第点だと思っている。なお、今後も強化をしていく。

学力定着状況調査

問 県学力定着状況調査の趣旨と本町の対応は。

山中教育長 県版学力テストは児童、生徒の課題を把握して、指導方法の改善につなげる狙いとしており、本町もこれに対応することで、成果を上げていく。



ALTから英語の授業を受ける中学生



小田 範博 議員

私債権管理

不能欠損金の処理は 永久滞納管理簿で管理

環境水道課長

問 私債権に属する住宅使用料・水道料金・学校給食費・学童保育料・預かり保育料等の直近の滞納状況は。

織田総務課長

町営住宅使用料は滞納件数39件、金額は985万8200円になっている。

岡田環境水道課長 水道料金は延べ61人1511件で、金額は23万7854円になっている。

谷岡教育次長 学校給食費11世帯25万5420円、預かり保育料は1世帯9千円、学童保育料は5世帯22万6千円、越知町奨学金は4人で62万5千円、小田原奨学金は1人で106万4千円になっている。

問 公権力のない私債権は最高裁の判例で、債権を放棄したり免除する裁量権は地方公共団体の長にはないと示されている。

決算書に上ってくる不能欠損金はどのように処理されたものか。

織田総務課長

町営住宅使用料は、24年度に1人で18万7900円を時効処理しているが、時効の援用内容は把握できていない。

岡田環境水道課長 水道料金は、2年が経過したもの会計上の不納欠損金としており、26年度は5人で9607円、27年度は6人で1万5387円、28年度は7人で2万7650円となっている。債権者の時効の援用がないので、永久滞納管理簿で管理している。

問 今まで通りの対応では一元化されないと思うが、条例制定後の徴収事務はどのような体制で行うのか。

織田総務課長

それぞれ担当課で私債権の認識をし、勉強を重ねながら

統一した事務処理を行う。

小田町長 一元化することが理想だと思うので、今後協議をしながら体制を考える。

問 徴収事務に就く職員は、精神的・肉体的負担が大きく、身の危険を感じる時もあると思うが、特殊勤務手当を支給できないか。

小田町長 行政改革でいろいろな手当を削減してきた経緯があるので、今後十分考慮した上で対処したい。

問 土地を取得して半年以上経つが、現在の分譲状況はどうか。

中内企画課長

できない。

問 分譲できていない状況をどのように分析しているか。

中内企画課長

3区画から4区画を分譲する計画である。単価の設定はできていない。

問 全ての事務処理が大変遅れているが、今後の取り組みは。

中内企画課長

早急に募集できるような事務処理に取り組む。

中内企画課長 早急に募集できるような事務処理に取り組む。

1区移住促進住宅用地

分譲ができていない

早急な事務処理に取り組む

企画課長

問 土地を取得して半年以上経つが、現在の分譲状況はどうか。

小田町長

集合住宅と分譲する土地の区画割合に手間取っており、分譲できない状況である。

中内企画課長

できない。

問 最終的には何区画を分譲する計画なのか。分譲する際の坪単価は設定しているか。

中内企画課長

3区画から4区画を分譲する計画である。単価の設定はできていない。



集合住宅の建設も検討されている1区住宅用地



市原静子 議員

防災対策

防災士資格取得に支援を
できるように検討したい

危機管理課長

問 一般の人が防災士の資格を取るにはどうすればよいのか、町の支援はあるのか。

上田危機管理課長 資格を取得するための講習は、自治体、学校法人、民間法人が実施している。

2日間受講して試験に合格し、登録すると防災士になることができる。

受講料、登録料の計8000円の支援は、全国的に多数あり、本町もできるように検討したい。

問 自主防災組織が整っている地域の防災倉庫の中身は足りているのか。

また、意識を高めるための取り組みはしているのか。

上田危機管理課長 倉庫の中身は、地域の要望があったものと町として必要とする機材で、消火器

発電機、投光器、チェンソー、担架、電工ドラム、一輪車、スコップ、など、ショウレン、カケヤ、

ボール、ブルーシート、ロープ、救急箱、ヘルメット、軍手などを装備しているが、地域によって若干の違いはある。

使い方などは、最初の学習会や訓練の中で行っている。

また、防災意識を高めるため区長会、広報で発信している。

問 火災が起きた時、住民は大変心配しており、鎮火放送時「安否確認を放送してほしい」との声があるが。

確認の電話はどこにするればよいのか。

上田危機管理課長 鎮火後の現場検証には大変時間がかかり、同時に安否情報を放送することは大変難しい。

電話の問い合わせは、役場をお願いします。

負担を無料に

問 総合健診の受診率が伸びていない。

「前立腺がん、ピロリ菌検査、子宮頸がん、乳がんの各10000円の負担を、無料にすれば受診者は増えるのでは」との声があるが。

理解を

結城保健福祉課長 前立腺がん・ピロリ菌検査は町の任意型検査であり、

2310円のところを自己負担10000円としており、大きな負担はかけていない。

子宮頸がん・乳がんは健康増進法に基づく事業で、原則として2年ごとに偶数年齢で受けると無料でありご理解いただきたい。

国保の集団検診受診者には、満点コスモスカードの贈呈など未受診者の人に関心を持ってもらう取り組みをしている。



より便利な運行が望まれる町民バス

町民バスに回数券を
連絡先の表示を

問 町民バスの利用者から「小銭を出すのに難しく回数券を作ってもらいたい」との声があるが。

問 若いお母さんから、公園で虫の発生や雑草が伸びているなどの問題が起きた時「よく見える所に連絡先の表示を」との要望があるが。

検討する

織田総務課長 委託先の黒岩観光からも「お釣りに時間がかかり遅れる心配がある」と聞いている。

8月には地域公共交通会議を開催し検討する必要があると考えている。

取り付ける

岡田環境水道課長 月に一度の点検では、雑草の伸びが早いとか、状況が変化することもあり、迅速に対応ができるよう連絡先の表示を取り付ける。

人材育成

子ども議会は開けないか 開催したい 町長



武智龍 議員

一般質問

問 平成12年に中学生議員による議会が行われ、ごみ処理問題や町の活性化など18件の質問や提案があつているが、どこが主催し、結果はどのように扱われたのか。

山中教育長 当時は議会の音頭で行われ、明治と越知中学校の生徒会のメンバーが議員を務めたようだ。

質問内容が実現しているものもあり、中学生の先見性に驚いている。

問 今の議員の平均年齢は65歳を超えた。

今後、本町の将来を担う人材育成の一環として、中学生による子ども議会が開けないか。

山中教育長 中学校の校長と、1年生で議会の見学、2年生で議会の研究、3年生で議会開会という流れでできないかを検討中だ。

問 学年ごとの段階的な取り組みは、非常にすばらしい。

移住者の42%がUターンということから考えると、ものすごい人材が出てくる可能性がある。

10年、20年先を見据えて取り組むべきだ。

小田町長 中学生に政治家や町民の暮らしを理解していただきたいので、子ども議会は開催したい。

観光の経済効果は

問 観光振興の費用対効果は。

ツアーは119%

中内企画課長 28年度のカヌーとラフティングは、費用755万2119円に対し、1046万4千円の収入があつた。

仁淀ブルー観光協議会による流域へのツアー受け入れ実績は181本で、対前年比119%の4511人だつた。

問 流域へのツアー客の内、本町へ何人来たのか。

中内企画課長 何人来たか把握できていない。

問 計画中のキャンプ場の経済効果の見込みは。

中内企画課長 新規雇用等で3100万円、キャンプ場の売り上げ4500万円、宮の前センターハウスの売り上げ5100万円、町内外での飲食費、交通費、お土産代等1億8700万円を見込んでいます。

問 1億8700万円は大きいですが、どういう消費が起こると想定しているのか。

中内企画課長 県の調査による1人当たりの観光消費額を基に計算したものだ。

問 10億円近い町のお金を投入する事業だ。重要な

中内企画課長 31年度までの目標200人を少しでも早く達成できるように、東京、大阪での移住相談会へ行き直接声かけする。

ことは、本町にどういう経済効果が得られるかだ。温泉、ホテルなどお金を使うところが少ない本町に、県の資料はなじまない。

小田町長 事業をやる以上はどれだけの費用対効果があるのか、町民や議会の皆さんに心配かけないようにやるべきだと思つている。

移住相談者へのアプローチは

問 29年度の移住目標数は設定しているか。

対象者へはどんなアプローチをするのか。

相談会で声掛け

中内企画課長 31年度までの目標200人を少しでも早く達成できるように、東京、大阪での移住相談会へ行き直接声かけする。



17年前には16人の中学生が一般質問に登壇した

宮の前・日ノ瀬公園キャンプ場

宮の前のオープンは 3月末は難しい

企画課長



山橋正男 議員

一般質問

問 日ノ瀬の造成工事は進んでいるが、宮の前は全く進んでいない。両キャンプ場は計画通り30年4月にオープンできるのか。

小田町長 日ノ瀬は30年4月オープンに向け進んでいるが、宮の前は工事の状況等、流動的な部分があつて、具体的にいつまでにということは言えない。

中内企画課長 宮の前は軟弱地盤の改良工事が必要となり、当初の予定より4カ月遅れており3月末は難しい。

問 宮の前は1年ぐらい遅れるのではないかと心配しているが、オープン時期は。

小田町長 秋はコスモスマつりがあり、オープン時期は集客がある時に利用してもらおうのが一番と考える。



宮の前センターハウス建設予定地は手付かすの状況だ

問 昨年の12月議会で、町長は指定管理者をスノーピークと答弁した。今回は公募で行うとのことだが、どちらが正しいか。

小田町長 キャンプ場の管理は、スノーピークにやってもらうのがベストだとの思いで答弁した。きちんとして手続きを踏むべきだということでも公募した。

問 現在、観光協会が運営をしているラフティングとカヌーは、毎年利用者が増え、売り上げも右肩上がりである。指定管理者がスノーピークに決まれば観光協会との摩擦は起きないか。

小田町長 観光協会が積み上げてきた体験型観光は、収益も上がっており越知観光の目玉と思つている。
従来通り観光協会が指定管理者かは、現時点では決めていない。

結論は出たのか

問 1区の移住定住用地は、購入から6カ月経過するが、集合か分譲か、それとも両方にするのか結論は出たのか。
また、庁内では話し合いを行ったか。

中内企画課長 結論は出していない。庁内全体での会議はしていない。

12月に示す

小田町長 このまま放置しておくわけにはいかないので、12月議会には具体的に話ができるようにしたい。

子育て支援

問 赤ちゃんが生まれた家庭に、1人につき祝い金50000円を支給しているが、いつから始まったか。

結城保健福祉課長 社会福祉協議会の事業で17年度から実施している。

問 12年が経過したが、町としても支援する考えはないか。

小田町長 今後、具体的に検討したい。

問 12年度から新入学児童に祝い金2万円を支給していたが、18年度以降は1万円である。元に戻すか増額する考えはないか。

小田町長 まずは元に戻すところから始め、喜んでもらえる金額を検討したい。

広域議会

組合長報告

第2回定例会が、5月30日に開かれ、個人情報保護条例などの一部改正3件、監査委員の選任同意1件を全会一致で可決・同意しました。一般質問には、2人が登壇しました。

清掃センター基幹的施設整備工事は9月議会で契約

本年度からの継続事業となる清掃センター基幹的施設整備工事は、3月に最終発注仕様書の決定、



大規模な改修工事が行われる清掃センター

4月には、施工委託監理業務の委託業者の選定を行い、5月8日には焼却炉施設の施工実績等を条件とする一般競争入札の公告を行った。今後は9月議会で、請負契約締結を承認いただくよう事務を進めている。

特養の介護職員確保に苦慮

職員の採用予定者の中から介護職3人の辞退者が発生した。

特別養護老人ホームでは、慢性的な介護職難で、補充ができない状況が続いており、人員確保に大変苦慮している。介護職員の採用試験を7～8月に実施する。

人事の同意

監査委員

田村泰富氏（佐川町）

一般質問

岡林学 議員

災害対応

問 熊本市消防局の担当者の講演から、地震時の対応や発災後の行動について、消防本部や各分団の体制、備品などを見直さなければならぬことはないか。

地域の防災力強化

松田消防長

大規模な災害による被害を軽減するためには、地域における自助、共助による防災力の強化が何よりも大切である。

地域の防災力の要である消防団をはじめ、女性防火クラブや自主防災組織などの活性化に向けた取り組みを推進していかねばならない。

福祉避難所に指定されている五葉荘



片岡智準 議員

（仁淀川町）

高齢化・過疎化に広域の取り組みは

問 今後さらに高齢化や過疎化が進むと、地域によっては一人住まいや高齢の女性が増加し、労働力が極端に減少する。中には日々の食料調達や自宅周辺の雑草・田畑対策などにも事を欠くことが予想される。この状況に対応するため、広域的な取り組みが

できないか。

協力は大切だ

橋本事務局長

当組合は、規約に定められた事務を法令に基づいて運営している。

構成町と連携しながら、助言もいただき、協力することは大切だと考えている。

問 避難場所として、広域の施設の使用はできないか。

橋本事務局長

五葉荘ともみじ荘が、福祉避難所に指定されている。

今回は、29年3月末で地域おこし協力隊の任期を終え、寺岡商会として起業され、農業に従事している寺岡雄大さんにお話を伺いました。



てらおかゆうだい
寺岡雄大さん
(1区)

越知の人は親切

アポなしで役場の窓口を訪問したとき「移住して畑をやりたい」って言うと、まず協力隊をやってみたらと言われ採用された。

越知は、役場も町の人も親切な人が多い。7歳と2歳の子どもがいるが、子育て環境も整っていて、居心地が良いので永住を決めたとのことだ。

農業をやりたい

今は、借地の畑2反で路地ピーマンとハーブを無農薬で栽培している。ピーマンは400本植えたが、手が足らず収穫するのは300本くらいだ。

収穫したものを拭いて、計って、詰めて、全てを一人でこなし、主にJAへ出荷する。ふるさと納税の返礼品用にも少し出す。それで一日が終わる。

8月からは赤ピーマンになるので、値段が良くなるかと期待を膨らみます。

寺岡商会の夢

ハーブ、野菜、アメゴ、炭焼きなど生産から販売までやりたくて「商会」にした。ハウスなど初期投資はできないが、作業場は欲しい。冷蔵庫と乾燥機など不用品があれば、安く譲ってもらえたら助かる。

まだ分からないことが多いので、気軽に教えてくれる人や収穫を頼める人材派遣の仕組みがあると良い。ハーブは単価が高いので、販路開拓のため、園芸連や高知市内の業者などの訪問を計画している。

奥さんは今、幼稚園に勤めているが、先にはなるべくハーブ一本で食っていきたいという夢を持っている。ぜひ成功してほしい。
(取材班)

議会を傍聴しませんか

6月定例会の傍聴者は延べ5人でした。次の定例会は9月8日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。

編集後記

6月は空梅雨で農作物への被害を心配していたが、7月は各地域で集中豪雨が起り、九州北部は大きな被害を受けた。

私たち議会は、2年前から災害を議題にして取り組み、3月議会で、災害対策支援本部を立ち上げるための要綱を制定し、議会の役割を明確にした。

取り組みの一つとして、内陸での地震対策の研究をするため、昨年の熊本大地震の被災地である益城町を視察した。

町全体が崩壊状態にあり、役場職員も2カ月間休みもない状況だった。議員は住民と行政とのパイプ役となり、避難所の仮設トイレを住民と一緒に設置したとのことだった。

今回の研修で課題も見えてきた。今後どう生かしていくのか、みんな話して合っていきたい。
《高橋》

編集・発行責任者	議長 岡林 学
議会広報常任委員会	委員長 武智 龍
	副委員長 高橋 文一
	委員 齋藤 政広
	委員 市原 静子
	委員 小田 範博

※分かりやすい紙面に心がけています。読後の感想、ご意見を寄せください。